

## 災害時の避難所である学校の耐震補強工事 市独自の児童の安全確保、児童虐待問題対策

12月定例市議会（12月4日—12月24日）では、代表質問を塩見みゆき議員、個人質問をそろり邦雄議員、村口はじめ議員、山根たかし議員が行いました。

# 平和憲法とくらしを守る新たな年に

# 日本共産党

### 代表質問

#### 塩見みゆき議員

- 学校は子どもたちの生活の場であり、地域の避難施設です。阪神淡路・中越地震の教訓を生かし体育館、校舎の耐震補強工事を早急に行うべき。災害時に自力で対応できない身障者や高齢者への支援対策を早急に具体化を。
- 介護保険料の減免制度については、あまりにも基準が実態にあわない（所得が生活保護基準で預貯金100万円以内）。基準の見直しをすべき。また特別養護老人ホームの増設は急がれる課題なので取り組みの強化を。
- 児童虐待での不幸な事件があいついでいる、専門職員、臨床心理士、ソーシャルワーカーなどの専門家を置いて、24時間の相談体制をとるとともに児童虐待対策室を市独自で設置すべき。

- 小学校給食の民間委託は反対！中学校給食は、保護者からは自校調理の給食を望む声が多く、生徒たちからは弁当、購置方式、給食など自由選択の希望が多い。市として、先にデリバリー方式ありきでなく保護者、生徒の希望や意見をよく聞いて実施すべき。

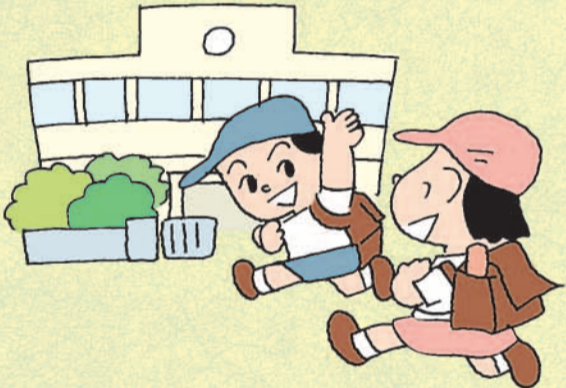
- 子育て支援対策として、子どもの安全のためのキッズセーバー配置の努力、充実を。

- 実態に見あった学童保育の開室時間の延長を。乳幼児4ヶ月健診は個別健診のみで発達診断、育児の相談ができないので総合的な健診ができるようにすべき。

- 保育園園舎の老朽化問題は深刻です。事故が起きてからでは遅いので早急に大規模改修を計画化すべき。保育園建設で保育園の待機児解消をはかること。

- 今年度で国の読書活動支援者配置事業、小学校低学年補助教員配置事業が打ち切られようとしているが、来年度からも市の独自で継続実施できるように手だてをうつべき。

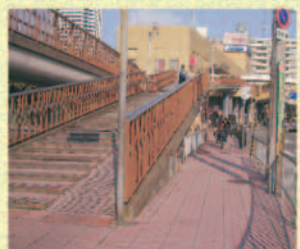
- 日本生命住宅跡地開発の対策など千里丘の街づくりについては街全体の基本構想を市として示すべき。また岸辺駅前周辺まちづくり懇談会では、近畿コンクリート工場跡地の開発などが決まっており市民の意見が充分反映できず失望感が生まれている、もともと市民参画の促進をすべき。



府立老人総合センター



片山市民プール



JR吹田駅スロープ

#### そろり邦雄議員

- 大阪府や千里センターの廃止、処分予定用地（古江台5丁目教職員住宅・竹見台府職員住宅・青山台元阪急電鉄延伸予定地など）については地域の意向をふまえた対応にすべき。
- また、「府立老人総合センター」が廃止予定と聞くと、地元市として存続に向けた努力を求めます。

- 定率減税の廃止と公的年金控除引き下げの市民影響はどうなるのか？市の各種施策に対する影響も調査すべき。また来年度予算編成に当たって、市民の暮らしが大変なもとで画一的な予算削減をするのではなく市民生活重視の立場で予算編成すべき。

#### 村口はじめ議員

- 片山市民プールの7、8月の営業時間については現状夕方6時までの営業を、通常通り夜9時まで延長すべき。山手、千一地区公民館は老朽化し狭すぎるので建て替える。

- 商工施策について「小規模工事等希望者登録制度」と、地域経済の活性化に有効な「住宅リフォーム助成制度」の創設をすべき。また「産業振興条例」の制定と官公需の公正・公平な入札と発注に留意するとともに談合に注意し、制度の改善をはかること。

#### 山根たかし議員

- JR吹田・阪急吹田・阪急豊津駅などのバリアフリーをすすめる。

- JR吹田駅前バリアフリー化は8年間にわたる計画の財源を明らかにする事。計画では西側スロープが撤去されると聞いているが撤去後にはエスカレーターの設置を求めます。

- 梅田貨物駅移転問題は、これまで旧国鉄の債務を返済するために、梅田北ヤードを売却するという説明だったがその後の経過の中で、大規模開発のためということがわかり吹田への移転の大前提が崩れた。2分の1の大阪市内の移転のメドもない中で吹田市が先行する必要はない。遺跡問題や土壌汚染問題の十分な調査、対応を。

### 個人質問